

## 小学校 道徳科「アニメ『めぐみ』」

### 資料について

1977（昭和 52）年に中学生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた 25 分のドキュメンタリー・アニメです。



### ねらい（C 公正、公平、社会正義）

めぐみさんに対する両親の思いに共感させ、誰もが安心して生活できる社会をつくっていかうとする心情を高めます。

### 展開例

主な発問	指導のポイント
<p>○ 自分の大切な家族が、ある日突然いなくなったらどんな気持ちになるでしょう。</p> <p>【アニメ視聴】</p> <p>○ めぐみさんが突然いなくなった時、両親はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>○ 街頭で救出を呼びかける両親は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ なぜ人々はビラを受け取らなかったのでしょうか。</p> <p>○ この学習をとおして、自分の生活を振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科で学習した拉致問題について確認します。</li> <li>・ 拉致によって引き裂かれた我が子を思う両親の悲痛な気持ちを想像させます。</li> <li>・ 全国各地を巡り、この問題への正しい理解と協力を求めて活動する両親の姿に共感させるとともに、「自分のこと」として関心をもつことの必要感を高めます。</li> <li>・ 誰もが安心して生活できる社会の実現に向けて取り組もうとする心情を高めます。</li> </ul>

### 留意事項

- ・ 国民が拉致問題に関心をもつことがこの問題の解決には欠かせないことを踏まえ、社会科等において拉致問題に対する学習との関連を図ることでより効果的な学びにつなげましょう。
- ・ 拉致問題は、北朝鮮の国家による人権侵害であることを押さえ、朝鮮につながりのある人や北朝鮮で暮らす一般市民の人権への十分な配慮が必要であり、新たな差別や排除が起こらないように適切な指導が求められます。
- ・ 指導内容については、教職員間で十分協議し、本県における特定失踪者の家族の思い（補助資料）を引用するなど、児童・保護者・地域の実態に応じて共通理解を図ることが必要です。

### 出典・参考資料

- ・ 映像資料「DVD アニメ『めぐみ』」（25分）（企画・制作：政府 拉致問題対策本部）
- ・ 人権・同和教育だより第95号（2018年3月改訂） 幸せへの道 「拉致問題の解決に向けて」（愛媛県教育委員会）

## 【補助資料1】 拉致被害者・特定失踪者家族の想い



《 特定失踪者家族 》  
左から長島さん、二宮さん、大政さん

日本には、政府に認定された拉致被害者（17名）のほか、北朝鮮に拉致された可能性の高い特定失踪者もいます。本県では、大政由美さん、二宮喜一さん、山下綾子さんが該当します。

### おおまさ えつこ おおまさ ゆみ 大政 悦子 さん（大政 由美 さんの母）

今年一年、拉致問題は動きが全くありませんでした。

一昨年のストックホルム合意の時、北朝鮮でニュースが流れたことで、「日本から迎えに来てくれる。助けてくれる」と期待をもった人が確かにいたと思います。それが失望に変わり、今回3回目の凍てつく寒い冬を迎えます。その人たちの心の内を想像してください。その人たちを幸せにしてください。

目的は「全員取り返す」この一つです。どうか皆さん、御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。（H28.12.14 拉致問題を考える研修会）

### にのみや えつお にのみや よしかず 二宮 悦雄 さん（二宮 喜一 さんの兄）

本日は、大勢の方にお越しいただきまして、大変ありがとうございます。

弟も失踪しまして40数年経ちます。未だに忘れたことはありません。どうか、皆様、御協力をお願いいたします。（H20.7.6 国民大集会 in 愛媛）

### ながしま きよし やました あやこ 長島 清志 さん（山下 綾子 さんの従兄弟）

山下綾子は、今治市内の病院に勤めておりましたが、通勤に使っておった自転車を今治駅に置きまして、突然姿が見えなくなったわけでございます。

以来、もう40年、探し続けております。今年も一年、いろいろな所に出かけて、手がかりを探しましたが、全くありません。こんなに悲しいことがこんなに長く続くとは思いませんでした。

どうか皆さんの御協力をいただいて、一時も早く全員が帰って来れるようにしたいと念願しております。よろしく申し上げます。

（H28.12.14 拉致問題を考える研修会）

【愛媛県保健福祉部長寿介護課資料より】

- ◇ 家族のみなさんの訴えのなかには、北朝鮮への怒りもありますが、最も強い思いは、「何の理由もなく、<sup>こっぜん</sup>忽然と連れ去られた我が子を、肉親を、ただ返して欲しい。元気なうちに抱きしめてあげたい」という、親や親族としての当たり前前の思いなのです。



家族の想いに寄り添い、共に歩んでいくことが大切です。

【補助資料2】 拉致問題の主な動き 太字は愛媛県関係

1970～1980年代	多くの日本人が不自然な形で行方不明
1990年代	政府は、北朝鮮に対して拉致問題を提起したが、北朝鮮はかたくなに否定
1997年(H9) 3月	「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(家族会)」結成
2002年(H14)9月 10月	第1回日朝首脳会談を開催。北朝鮮が日本人の拉致を初めて認め、公式に謝罪 <b>愛媛県議会で「日朝国交正常化交渉の再開と日本人拉致事件の優先的且つ徹底的な全容解明に関する意見書」を議決(以後、同様の意見書等を採用)</b> 5名の拉致被害者が帰国
2003年(H15) 3月 7月	<b>北朝鮮による拉致問題を考える愛媛県民会議(救う会愛媛)発足</b> <b>拉致問題を考える県民大集会を開催(救う会愛媛主催)</b>
2004年(H16) 5月	第2回日朝首脳会談が開催され、拉致被害者の家族5人が帰国 <b>北朝鮮による拉致を考える県民大集会を松山、伊予両市で開催</b>
2006年(H18) 6月 9月	「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」(北朝鮮人権法) 制定 拉致問題対策本部設置 <b>県HPで本県出身特定失踪者の情報提供の呼びかけを開始</b>
2007年(H19) 6月	<b>北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」で知事のメッセージを送る</b>
2008年(H20) 7月	<b>「すべての拉致被害者を救出するぞ! 国民大集会 in 愛媛」集会を松山で開催</b>
2009年(H21) 6月 12月	国連総会本会議で、北朝鮮に対し、拉致問題を早急に解決することを強く求める決議が採択される <b>県長寿介護課により、「拉致問題を考える研修会」開催、以後毎年開催</b>
2013年(H25) 1月 3月	拉致問題対策本部の会合において「拉致問題の解決に向けた方針と具体的施策」の決定 国連人権理事会で北朝鮮における人権に関する国連調査委員会の設置を決定
2014年(H26) 3月 4月	横田さん夫妻とキム・ウンギョンさん(めぐみさんの娘)との面会(於ウランバートル) 拉致被害者家族とオバマ米大統領との面談
2015年(H27) 9月	国連人権理事会で「北朝鮮の人権状況に関するパネルディスカッション」開催(於:ジュネーブ)
2016年(H28) 3月 5月	<b>県議会において北朝鮮による核・ミサイル・拉致問題の早急かつ包括的な解決を求める意見書提出</b> G7伊勢志摩・サミットの成果文書に拉致問題を明記
2017年(H29) 11月 12月	映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」上映会 <b>北朝鮮人権侵害問題啓発週間・作文コンクール2017最優秀、優秀受賞</b>
2018年(H30) 10月	<b>拉致問題啓発舞台劇公演</b> <b>北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」「しおかぜ」共同公開収録にて特定失踪者家族の呼びかけ、作文朗読</b>